

③^{こけい}虎溪用水広場整備工事

受賞機関 多治見市

全建賞審査委員会の評価ポイント

市の玄関口であるJR多治見駅直近で、歴史的価値を持つ旧農業用水を活用し、水と緑にあふれた空間を整備した事業。土岐川から駅前公園まで無動力で導水・排水できるよう設計されており、夏場での気温低下や、水路に落差を設け用水に酸素を供給し水質浄化作用を発揮させるなどの工夫していることを評価。

1. はじめに

市の中心部に位置するJR多治見駅の北側は、駅前にも関わらず旧国鉄跡地が利用されないままとなっていた。この場所を多くの人が集まる賑わいの中心となる駅前とするため、土地区画整理事業に併せて「交流や憩いの拠点となる広場を整備する」という方針のもと検討が重ねられた。その結果出来上がったのが虎溪用水広場であり、平成28年7月1日に供用開始した。

2. 事業の概要

広場面積は、約3,700㎡であり、長方形の平面形状となっている。広場内を巡る水路の延長は、約200mで市内を流れる土岐川から取水した毎秒200リットルの水が流れている。土岐川から旧農業用水である虎溪用水を環境用水として取水する水利許可を取得している。広場までの導水及び排水をすべて無動力で行っていることが特徴である。既存の水路や新たに整備した専用管を用いて広場まで導水し、広場全体をすり鉢状に造成することで水路に落差を設け、水が自然に環流、流出する設計となっている。また、広場内に植栽した高木は、市の丘陵地に植生する在来種を採用し、居心地の良い緑陰を提供している。



虎溪用水広場全景（右手奥が JR 多治見駅）

3. 事業の成果

広場全体がすり鉢状の地形であることから、広場に一歩足を踏み入れることにより、喧騒から逃れられる。水路に設けられた落差により発生する水音が心地よく、さらに豊富な緑陰で涼しく感じられる。また、移動可能な椅子が設置されており、好みの場所で過ごすことができる。日本有数の暑いまちとして知られる多治見市において、夏場でも憩いの空間になることはもちろんのこと、四季を通じて多くの方々が滞在していただける広場となっている。



夕涼みとして賑わうビアガーデン

4. おわりに

虎溪用水は、明治時代に周辺農民が悲願を込め私財を投げ難工事の末、完成させた用水であるが、現在は暗渠と化し確認することができない。先人の苦労を後世に受け継ぐとともに再生・復活させようとする機運が市民の中で高まり、市民委員会でこの用水を利用して多治見でしかできない広場をつくるのが提案され実現に至った。このことが、多くの方々に愛着を持っていただけている理由と考えている。

広場は出来上がって完成ではなく、今後どのように交流や憩いの拠点にしていくかが重要である。そこで当該広場は、指定管理者制度を活用し、多治見まちづくり株式会社に運営・管理を委託している。写真のビアガーデンは運営の一環で昨年夏に催されたものである。今後も虎溪用水広場に行けば、何かやっているとの期待感から今まで以上に多くの方々に来ていただけるよう、官民一体となって継続的に盛り上げていきたい。

賛助会員 (有)オンサイト計画設計事務所、玉野総合コンサルタント(株)